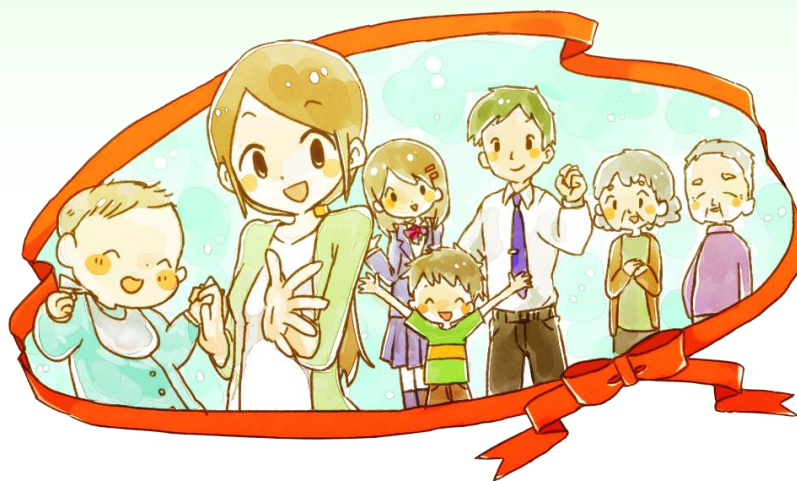


# 平成30年度主な取り組みと成果及び課題 平成31年度主な取り組み予定について



平成30年度第1回柏市保健衛生審議会母子保健専門分科会資料  
(平成31年1月22日)

柏市保健所 地域保健課

# 切れ目のない支援体制の整備に向けて

産前

産後

新生児

乳児

幼児

保健師等全数面談による  
母子健康手帳の交付  
・産後うつの予防, 早期対応

妊娠期の効果的な支援  
・保健医療の役割分担  
・ハイリスクグループ群に対する支援の確立

新生児訪問の全数実施  
・新生児の虐待予防

新生児期の効果的な支援  
・育児相談機能の整理と強化  
・地域での見守り支援  
・専門的な相談支援

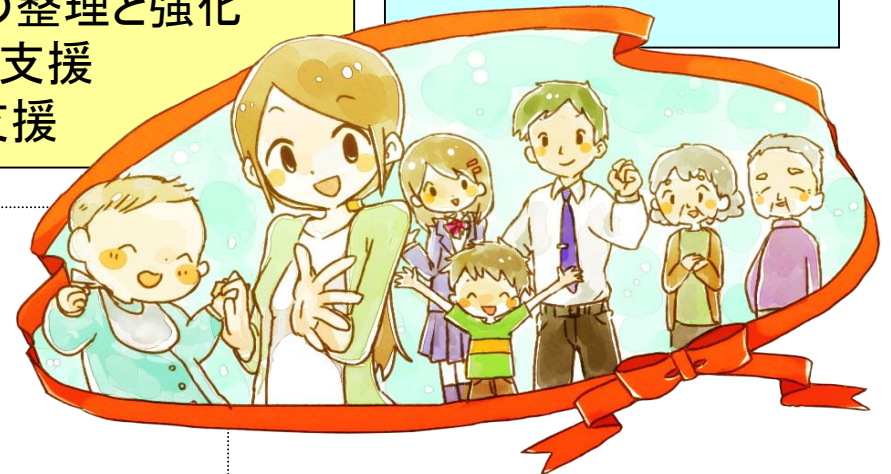
地域や多機関連携

## ○切れ目のない支援の実現

- ・支援がつながる安心感
- ・各相談先で「はじめから話さなくても良い」

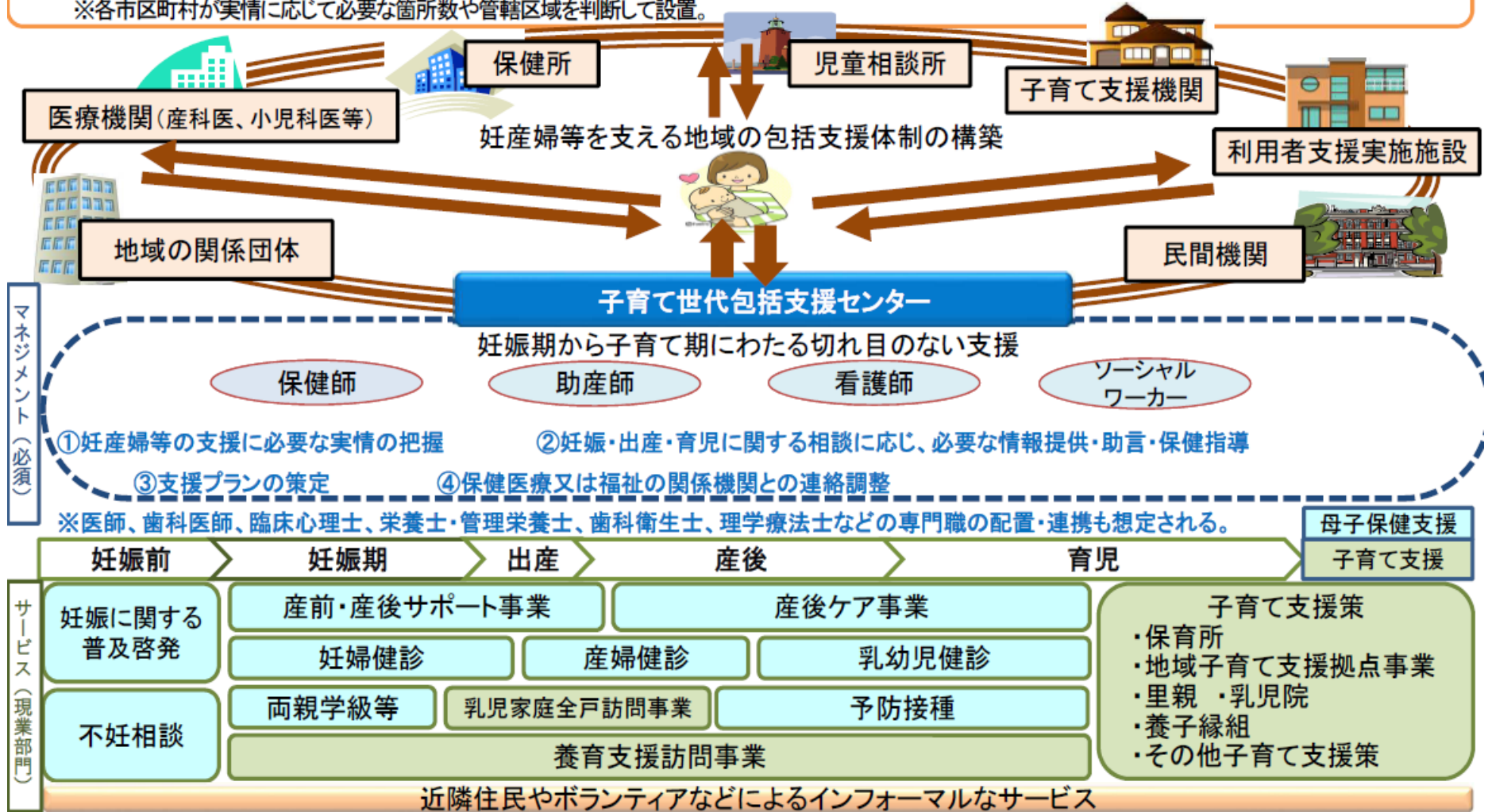
## ○早期支援の実現

- ・望まない妊娠への対応支援
- ・育てにくさを抱える子育て家庭への支援
- ・虐待防止の強化



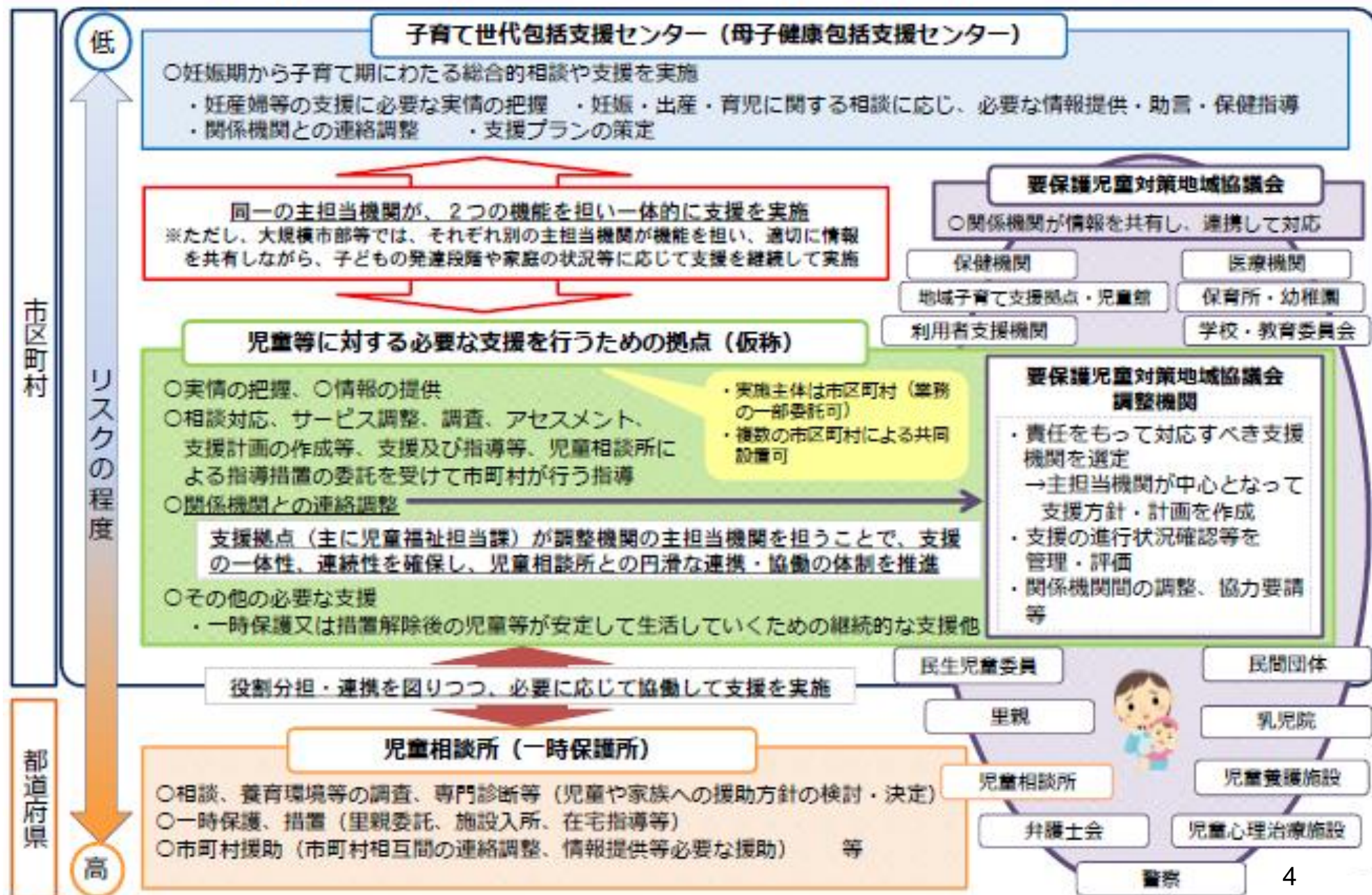
# 子育て世代包括支援センターの全国展開

- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、子育て世代包括支援センターに保健師等を配置して、「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供できるよう、きめ細かな相談支援等を行う。
- 母子保健法を改正し、子育て世代包括支援センターを法定化(平成29年4月1日施行)(法律上は「母子健康包括支援センター」)。
  - 実施市町村数:525市区町村(1,106か所)(平成29年4月1日現在) ➢ 平成32年度末までに全国展開を目指す。
  - ※各市区町村が実情に応じて必要な箇所数や管轄区域を判断して設置。





# 市区町村における児童等に対する必要な支援を行う体制の関係整理（イメージ案）



# 平成30年度の主な取り組み

## 1. 妊娠子育て相談センターの増設

- ⇒駅前すこやかプチルームの開設  
(身長体重測定等の相談対応, ハイリスクグループ群を対象とした交流支援を実施)
- ⇒母子保健コーナー(柏市役所内)を, 妊娠子育て相談センターとして位置づけ, 4箇所の妊娠子育て相談センターを設置  
(転入手続き時の母子保健相談ニーズへの対応, こども部関係課との連携支援の強化)
- ⇒子育て応援プランの実施(個別ニーズに応じたハイリスク支援プランの作成検討)

## 2. 母子保健事業【拡充】

- ⇒従来の母親学級の見直しを行い, ハイリスクグループ支援を開始
- ⇒8か月児相談事業の実施  
(乳児期における相談支援の強化)

## 3. 災害時母子支援に関する啓発【新】

- ⇒「あかちゃんとママを守る防災ノート」による啓発, 災害時に求められる母子保健について職員研修実施

平成30年度の主な取り組み

# 1. 妊婦子育て相談センターの増設



## ◎ 柏駅前

(住所) 柏市柏 1 - 1 - 1 1 ファミリ柏ビル 3 階

(時間) 平日 10:00~18:30

土曜日 10:00~16:00

## ◎ 柏市役所

(住所) 柏市柏 5 - 10 - 1 市役所別館 3 階

(時間) 平日 9:00~17:00

## ◎ ウェルネス柏

(住所) 柏市柏下 65 - 1 ウェルネス柏 3 階

(時間) 平日 9:00~17:00

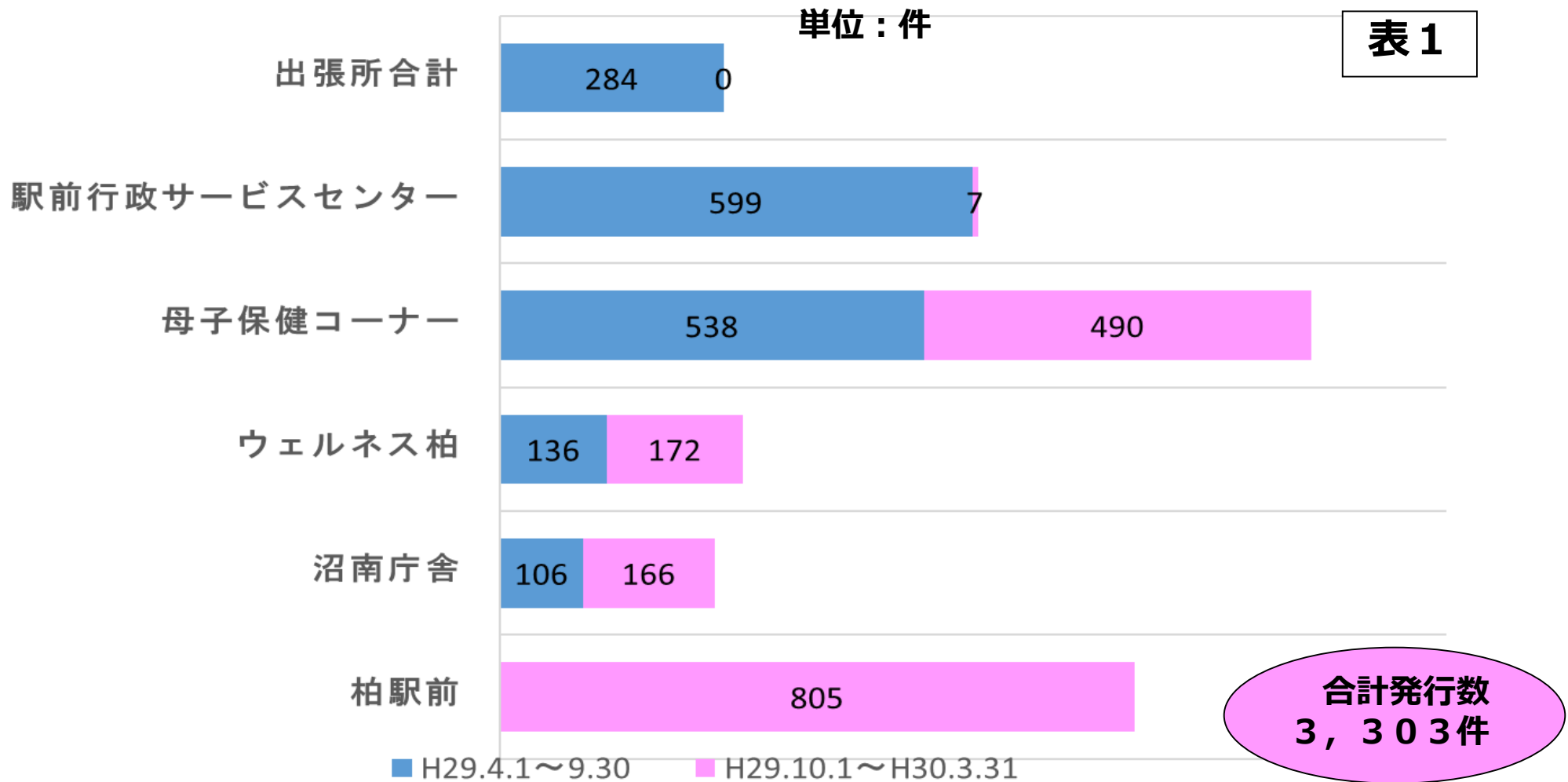


## ◎ 沼南

(住所) 柏市大島田 48 - 1 沼南庁舎 1 階

(時間) 平日 9:00~17:00

# 平成29年度母子健康手帳場所別発行数



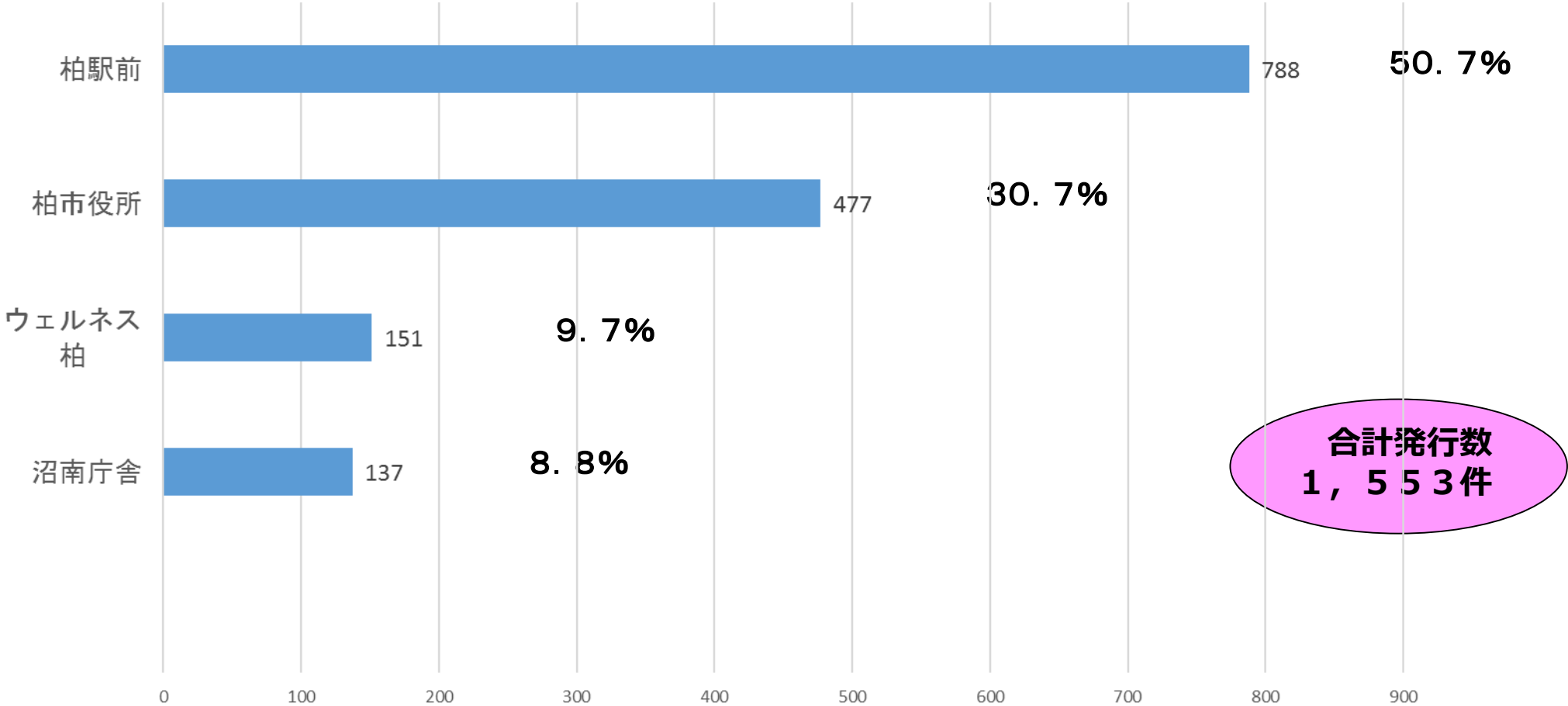
H29年度10月からの柏駅前開設に伴い、駅前での母子手帳発行数が増加



# 平成30年度上半期母子健康手帳場所別発行数

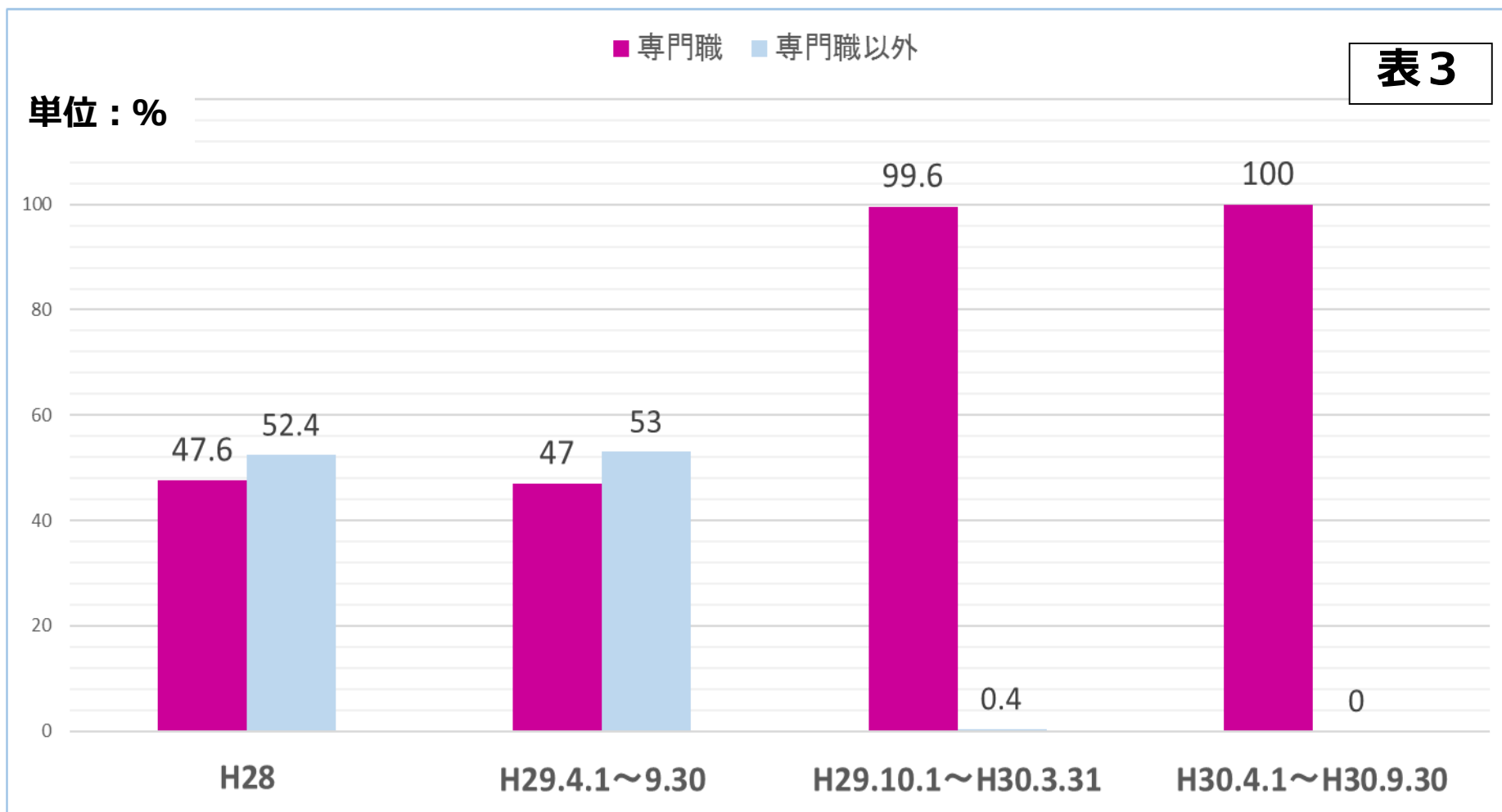
表2

単位：件



H29年度10月からの柏駅前開設に伴い、駅前での母子手帳発行数が増加

# 妊娠届出時の専門職による面談率



## 【保健師による面談率】

H28年度：47.6%

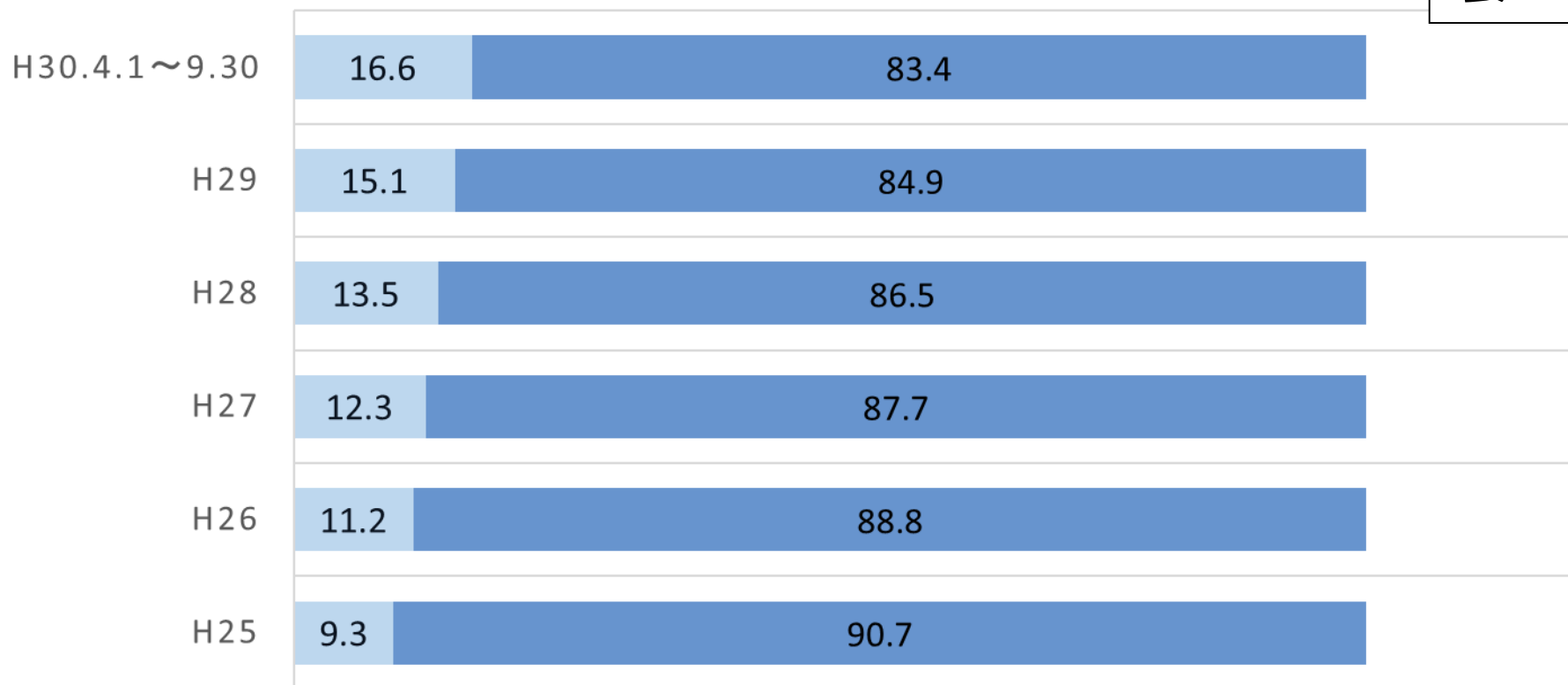
H29年4月～9月：47.0% H29年10月～H30年3月：99.6%

※保健師全数面接実施に伴い、保健師等専門職による面談率は概ね100%。

# 妊娠届出時におけるハイリスク妊婦（特定妊婦を含む）の割合

■ ハイリスク妊婦の割合 単位：%

表4

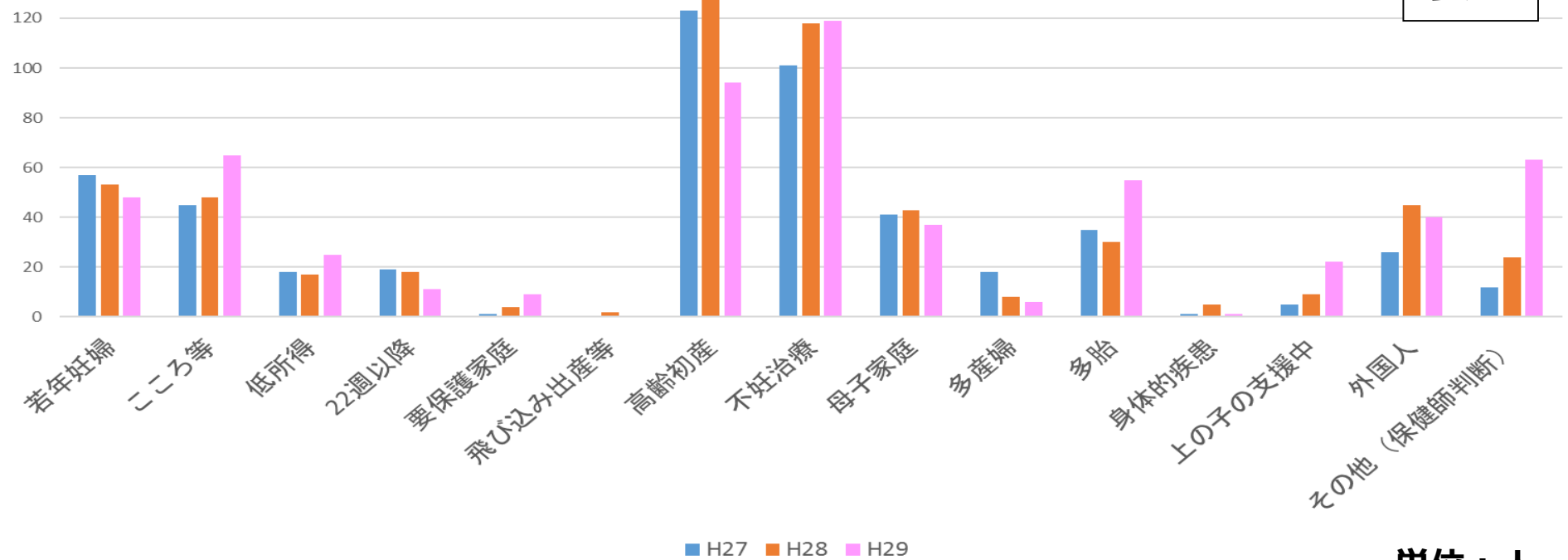


【H29年度】ハイリスク妊婦（特定妊婦を含む）の割合：15.1%  
⇒保健師による面談率の増加及び妊娠届出書改定により、ハイリスク妊婦（特定妊婦を含む）の割合は増加している。

# ハイリスク妊婦(特定妊婦を含む) の経年変化

単位：人

表5



単位：人

|     | 若年妊婦 | こころ等 | 低所得 | 22週以降 | 要保護家庭 | 飛び込み出産等 | 高齢初産 | 不妊治療 | 母子家庭 | 多産婦 | 多胎 | 身体的疾患 | 上の子の支援中 | 外国人 | その他(保健師判断) | 合計  |
|-----|------|------|-----|-------|-------|---------|------|------|------|-----|----|-------|---------|-----|------------|-----|
| H27 | 57   | 45   | 18  | 19    | 1     | 0       | 123  | 101  | 41   | 18  | 35 | 1     | 5       | 26  | 12         | 502 |
| H28 | 53   | 48   | 17  | 18    | 4     | 2       | 130  | 118  | 43   | 8   | 30 | 5     | 9       | 45  | 24         | 554 |
| H29 | 48   | 65   | 25  | 11    | 9     | 0       | 94   | 119  | 37   | 6   | 55 | 1     | 22      | 40  | 63         | 595 |

# 平成29年度ハイリスク妊婦（特定妊婦を含む）表6

|                         |                          |      |
|-------------------------|--------------------------|------|
| 特定妊婦                    | 若年妊婦：届出時10歳代             | 48人  |
|                         | こころ, 知的の問題あり(精神疾患の既往歴含む) | 65人  |
|                         | 低所得者                     | 25人  |
|                         | 妊娠22週以降の届出               | 11人  |
|                         | 支援中の要保護家庭からの妊娠届出         | 9人   |
|                         | 飛び込み出産・墜落分娩・助産指導なしの自宅分娩  | 0人   |
|                         | 高年齢初産：届出時39歳以上           | 94人  |
| 不妊治療による妊娠であり, 35歳以上の初産婦 | 119人                     |      |
| 母子家庭となるもの               | 37人                      |      |
| 多産婦：分娩経験5回以上            | 6人                       |      |
| 多胎                      | 55人                      |      |
| 身体的疾患あり(医療管理されていないもの)   | 1人                       |      |
| 上の子の発達や疾病で支援中の家庭        | 22人                      |      |
| 外国人                     | 40人                      |      |
| その他(保健師判断)              | 63人                      |      |
| 合計                      | (延べ人数)                   | 595人 |

実人数  
498人



# 平成30年度上半期ハイリスク妊婦（特定妊婦を含む）

H30.4.1～9.30まで

表7

|                         |                          |      |
|-------------------------|--------------------------|------|
| 特定妊婦                    | 若年妊婦：届出時10歳代             | 16人  |
|                         | こころ, 知的の問題あり(精神疾患の既往歴含む) | 77人  |
|                         | 低所得者                     | 8人   |
|                         | 妊娠22週以降の届出               | 2人   |
|                         | 支援中の要保護家庭からの妊娠届出         | 18人  |
|                         | 飛び込み出産・墜落分娩・助産指導なしの自宅分娩  | 1人   |
|                         | 高齢初産：届出時39歳以上            | 27人  |
| 不妊治療による妊娠であり, 35歳以上の初産婦 | 55人                      |      |
| 母子家庭となるもの               | 17人                      |      |
| 多産婦：分娩経験5回以上            | 4人                       |      |
| 多胎                      | 19人                      |      |
| 身体的疾患あり(医療管理されていないもの)   | 6人                       |      |
| 上の子の発達や疾病で支援中の家庭        | 15人                      |      |
| 外国人                     | 10人                      |      |
| その他(保健師判断)              | 60人                      |      |
| 合計                      | (延べ人数)                   | 335人 |

実人数  
284人

# 妊娠子育て相談センターの役割



## 主な業務

- ・ 母子健康手帳の交付
- ・ 母子保健事業のご案内
- ・ 妊娠・出産・産後の相談
- ・ 子育てに関する相談

## 妊娠子育て応援プランを作成

妊娠期・子育て期の皆様に必要な  
支援を一緒に作成



## 妊娠届出時における対応

- ❖目標1：妊娠中の健康管理ができる
- ❖目標2：出産の準備ができる
- ❖目標3：相談先を知ることができる

### \* 母子健康手帳の説明・支援内容説明

主体的な手帳の活用を提案する

### \* 子育てケアプランの説明

「自分たちに必要な支援は何か」考えてもらう

### \* こころの健康チェック

精神障害のハイリスク妊婦を抽出するため、包括的質問にてリスクを有するのか、スクリーニングを実施する

- ◎ 2項目質問法
- ◎ GAD - 2質問



# ●子育てケアプランの内容をお渡しする

**STEP1 妊娠が分ったら** (妊娠4~10週頃)



□ 妊婦健康診査を受ける

●健康診査は、14回分の公費助成の受診票を利用して受けることができます(一部自己負担あり)。詳細については、母子健康手帳別冊をご確認ください。

●柏市外へ転出したら、現在お使いの「妊婦健康診査受診票」「乳児一般健康診査受診票」は使えません。転出先の市町村で必ず変更手続きを行うようお願いいたします。

□ 歯科医院でお口の中をチェック

●出産前にむし歯治療をしておくことで、生まれてくる赤ちゃんのお口にむし歯菌を感染させるリスクが減ります。

**STEP2 体調が落ち着いてきたら** (妊娠16~27週頃)

□ 出産の準備をする

●安定期に入ったら必要物品の準備をしましょう。  
⇒母子手帳バック封入冊子『何が必要?どう選ぶ?』をご覧ください。

●妊娠中の生活や出産、育児などは周囲の協力が必要になります。妊娠中や出産後の生活や家事の分担について家族を話し合いましょう。


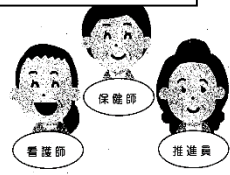
□ 妊娠や出産、産後の心身の健康や育児に関して必要な知識や情報収集をする

●ママパパ学級やママパパクッキングに参加して、ママパパになる準備をしましょう。  
⇒母子手帳バック封入チラシ『ママパパ学級のご案内』をご覧ください。

●母子健康手帳には、妊娠期から乳幼児期までに必要な知識が記載されています。雑誌やインターネットなど子育てに関する情報があふれる中、妊娠・出産や子育てについて信頼のできる情報を提供する媒体としても、母子健康手帳は有効です。

「9~11か月頃」

●予防接種ノートの予診票を使用し、医療機関で予防接種を受けてください。

**あなたの地域は、\_\_\_\_\_地域です!**

**地域担当保健師は、\_\_\_\_\_です!**

**【問い合わせ】**

◎ **柏市妊娠子育て相談センター(ウェルネス柏)**  
TEL: 04-7167-1257  
FAX: 04-7167-1732

◎ **にこにこダイヤルかしわ(相談ダイヤル)**  
TEL: 04-7162-2525  
お気軽にご相談ください♪ **平成30年度**

**柏市妊娠子育て相談センター**

◎ **柏駅前**  
(住所) 柏市柏1-1-11ファミリ柏ビル3階  
(時間) 平日 10:00~18:30  
土曜日 10:00~16:00

◎ **柏市役所**  
(住所) 柏市柏5-10-1市役所別館3階  
(時間) 平日 9:00~17:00

◎ **ウェルネス柏**  
(住所) 柏市柏下65-1ウェルネス柏3階  
(時間) 平日 9:00~17:00

◎ **沼南**  
(住所) 柏市大島田48-1 沼南庁舎1階  
(時間) 平日 9:00~17:00

- その他、以下も合わせて交付しています ■
- ・妊婦健康診査、乳児一般健康診査の受診票
  - ・母子健康手帳バック (各種リーフレット一式)
  - ・チーパス (千葉県子育て家庭優待カード)
  - ・マップルプル (地域別子育て支援情報ちらし)
  - ・かしわこそだてハンドブック
  - ・あかちゃんとママを守る防災ノート

地域担当保健師名を入れた名刺を配布

# 駅前すこやかプチルームの開設



平成30年10月から、身長・体重測定や子育て情報の閲覧ができ、気軽に相談できるよう柏駅前に開設

合計来所組数 105組  
 平均来所組数（1日） 8組  
 （午前）4.1組  
 （午後）3.9組

## 10月来所者内訳

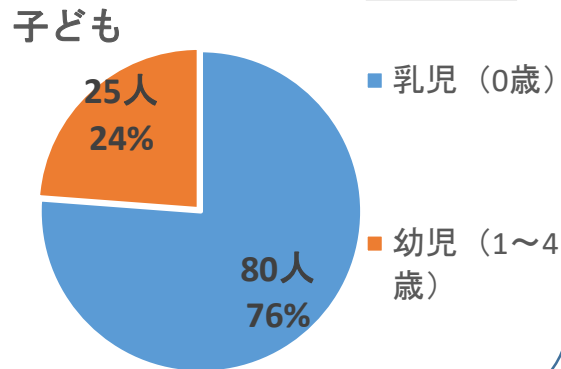
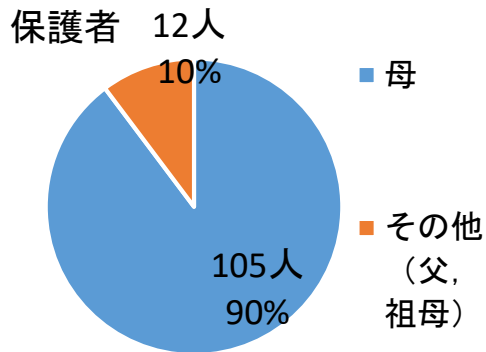


表 8





柏市妊娠子育て相談センター

プチ

# 駅前すこやかルーム

ファミリかしわにOPEN♡

柏市では、妊娠・出産・育児というライフサイクルを女性やその家族がより健やかに笑顔で過ごせることを願い、妊娠子育て相談センター柏駅前に隣接した「駅前すこやかプチルーム」を10月1日より開所します。「こどもの体重が気になる」「授乳がうまくいってるか不安…」など小さなことでもお気軽にご相談ください。

多くの方のご利用をお待ちしております\*



開所日：月・水・金曜日  
(祝日、振替休日、年末年始除く)  
開所時間：午前10：00～11：30  
午後2：00～4：00

## 駅前すこやかプチルーム はこんなところ

- 身長体重計測
- 健康育児相談（保健師・助産師等）
- 情報閲覧（母子保健・健康・子育て支援等）
- 予約不要

対象となる方

妊婦と乳幼児

(パパやご家族も大歓迎！)

「アットホームな  
空間です♪」



- ※スペースの都合上、お待ちいただくこともあります。
- ※食事はファミリかしわ5階の授乳室をご利用ください。
- ※今後、開所日時の変更や臨時休館の可能性もあります。ホームページ等でご確認ください。  
(検索ワード：はぐはぐ柏 駅前すこやかルーム)

柏市保健所 地域保健課  
TEL:04-7167-1257



平成30年10月

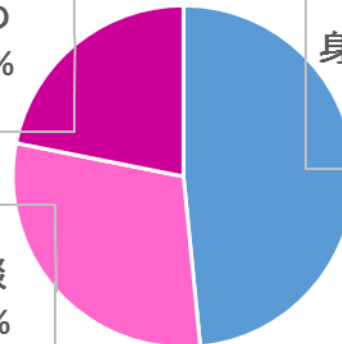
相談内容(10月来所者)

表9

子育て支援情報  
を得るため  
14人 22%

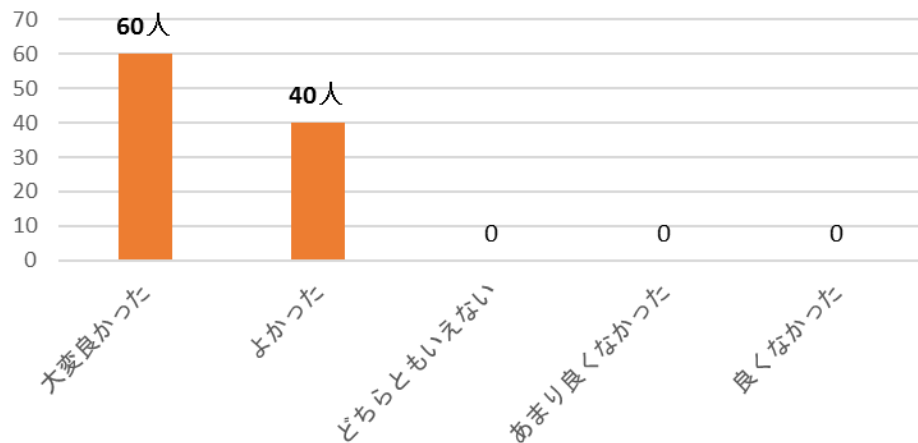
身長・体重測定,  
31人 48%

育児の相談  
19人 30%



感想 (10月来所者アンケートより)

表10



平成30年度の主な取り組み

## 2. 母子保健事業【拡充】



# ⇒従来の母親学級の見直し ハイリスクグループ支援を開始

地域ニーズに応じた効果的な支援に向けて  
限られたマンパワーの効果的な活用・適切な手段の選択が必須

↓  
妊娠期からの支援のあり方について全体的な見直しへ

平成30年度

平成29年度まで

- 子育て栄養編
  - すこやかママ編
  - ママパパッキング
- 受講率低下

- ・育メン編 受講率変動なし
- ・参加者が他コースと重複している

- ⇒
- ・教室を1つに集約し、より効果的に運営ができるように工夫をしていく。
  - ・広く周知することが望ましい内容は、妊娠届出時の面接時に周知していく。

受講者の年齢層に偏りあり  
(10代, 20代の受講率が低い)

- 高齢初産婦
- 不妊治療による妊娠で35歳以上初産婦それぞれ全ハイリスク妊婦の約2割を占める

⇒

ハイリスク妊婦教室の実施

【目的】

- ・孤立予防 ・親になる意識を高める
- ・出産後の赤ちゃんとの生活に関するイメージづくり

【ポピュレーションアプローチ】

ママパパサロン 8回/年

サタデーゆりかごサロン

(先輩ママ) 8回/年

※上記2つのサロンは、同日開催

【ハイリスクアプローチ】

こうのとりサロン (高齢妊婦)

3回/年

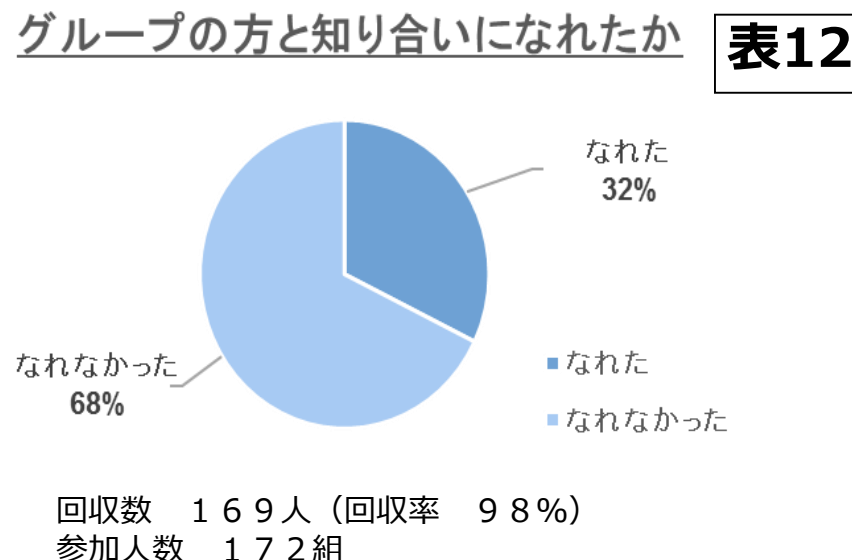
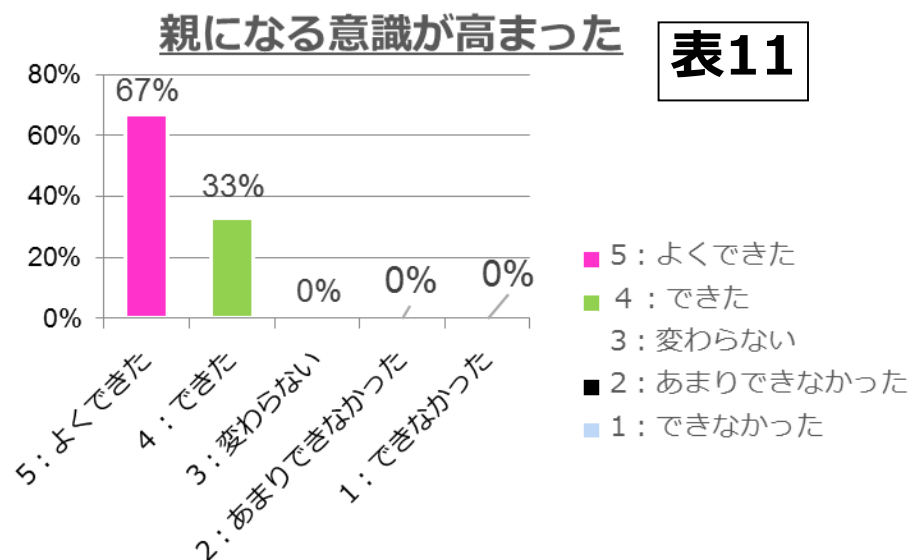
かんがるーサロン

(若年妊婦, 先輩ママ) 3回/年

# ママパパサロン平成30年度上半期アンケート結果

## 【ポピュレーションアプローチ】

- ママパパサロンに参加したことで、出産育児を主体的に考えることについて「よくできた」は67%、「できた」は33%だった。
- グループの方と知り合いになれた妊婦は約30%だった。



## 【ハイリスクアプローチ】

- かんがるーサロン, こうのとりのサロンでは, 同年代の妊婦同士の交流が良かったという意見があった。

## ⇒ 8 か月児相談事業の実施

乳児期における相談支援を強化するため、保健師、助産師、  
歯科衛生士、栄養士等による育児相談、講話等を実施

(対象者) 生後8か月児の乳児及び保護者

(実施日) 毎月4回。対象月の前月に案内文と記録票を郵送





【来所者状況（平成30年10月末）】 【参加者の感想（アンケート結果抜粋）】

表13

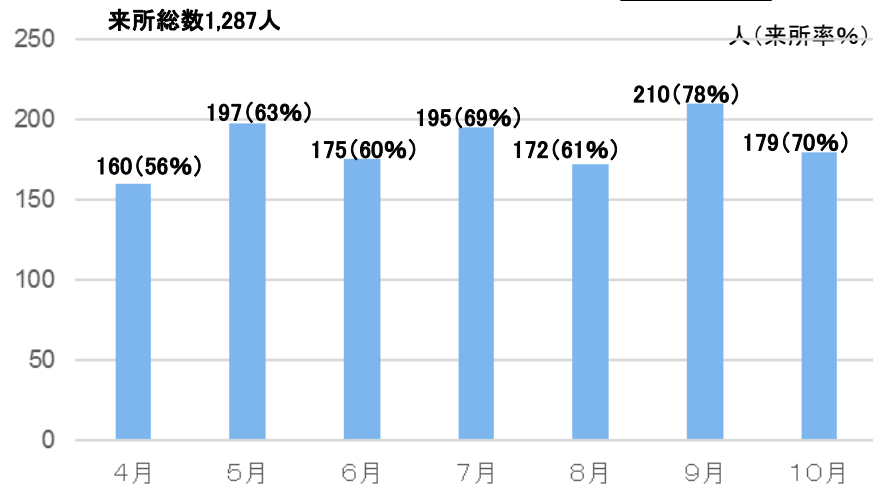
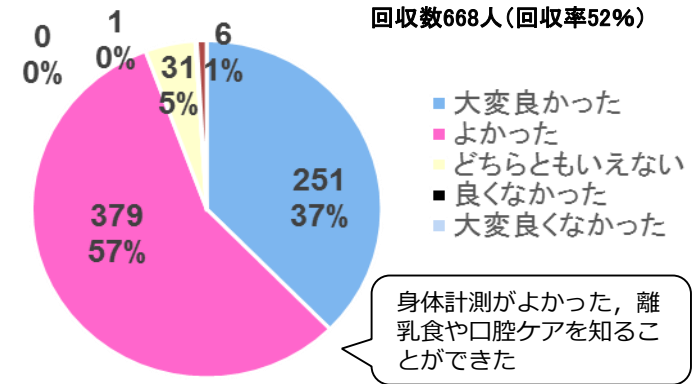


表14



- 平均来所率は65%。回答者の94%が「大変良かった」「よかった」と回答している
- 乳児期に必要な育児情報の提供や相談の機会になっている


平成30年度の主な取り組み

### 3. 災害時母子支援に関する啓発【新】



# 「あかちゃんとママを守る防災ノート」による啓発

## あかちゃんと ママを守る 防災ノート



もくじ

- ＊ 防災ノートの使い方 P02 /
- ＊ 防災マップを作りましょう P03 /
- ＊ 避難バッグを見直そう P05 /
- ＊ 発災時に必要な行動 P07 /
- ＊ 避難生活で必要な行動 P09 /
- ＊ 必要な備えについて考えよう P11 /
- ＊ 妊婦健康管理のセルフチェックリスト P13 /
- ＊ 乳児健康管理のチェックリスト P15 /
- ＊ パーソナルカード P17 /

氏名 \_\_\_\_\_

妊娠届出書申請時，乳児家庭全戸訪問で配布。  
その他の母子保健事業での配布及び妊娠子育て  
相談センターに常設。

## 赤ちゃん和妈妈を守る 防災ノートの使い方

- 1 書き込みながら、我が家の防災を充実させていこう**  
 このノートは1枚で1つの項目についてまとめています。表面で赤ちゃん和妈妈を守る防災ポイントを確認したら、裏面に「我が家の備え」について考えながら書き込んでいきましょう。
- 2 モノを備えるだけが防災ではありません**  
 妊娠中や産後の女性や乳幼児は、災害時に特別な支援が必要とされる層です。とはいえ、地域の方も支援が必要な人の存在を知らなければ、助けたくても助けられず、災禍を逃して地域に顔見知りを増やしたり、地域の防災訓練や防災イベントに参加できるように心がけましょう。
- 3 ママと赤ちゃんの健康記録を追加していこう**

妊婦・乳児の健康管理チェックリストは、セルフチェックをすることで受診時に必要な情報や受診の目安がわかるようになっていきます。



**防災マップを作りましょう**

自分の住む地域、自宅周辺で起こりうる災害について知り、どんなことが起こりうるかを調べてみましょう。

1 自治体が配布しているハザードマップを入手しましょう。

2 自治体が発行する防災冊子や、地域の防災情報を集めましょう。

3 我が家の防災マップを作りましょう。

**必要な備えについて考えよう**

1 妊婦期の心身の特徴と備え

2 産前産後の心身の特徴

3 乳児期の心身の特徴

**妊婦健康管理のセルフチェックリスト**

| 項目      | 年 | 月 | 日 | 結果 |
|---------|---|---|---|----|
| 胎動確認    |   |   |   |    |
| 体重増加    |   |   |   |    |
| 血圧測定    |   |   |   |    |
| 尿糖検査    |   |   |   |    |
| 胎位確認    |   |   |   |    |
| 胎心確認    |   |   |   |    |
| 子宮口確認   |   |   |   |    |
| 羊水確認    |   |   |   |    |
| 胎盤確認    |   |   |   |    |
| 胎膜確認    |   |   |   |    |
| 胎頭確認    |   |   |   |    |
| 胎背確認    |   |   |   |    |
| 胎足確認    |   |   |   |    |
| 胎頭径確認   |   |   |   |    |
| 胎頭高径確認  |   |   |   |    |
| 胎頭横径確認  |   |   |   |    |
| 胎頭前後径確認 |   |   |   |    |
| 胎頭左右径確認 |   |   |   |    |
| 胎頭上下径確認 |   |   |   |    |
| 胎頭前後径確認 |   |   |   |    |
| 胎頭左右径確認 |   |   |   |    |
| 胎頭上下径確認 |   |   |   |    |
| 胎頭前後径確認 |   |   |   |    |
| 胎頭左右径確認 |   |   |   |    |
| 胎頭上下径確認 |   |   |   |    |

# 災害時に求められる母子保健について職員研修実施

**目的：**母子保健または防災に携わる職種のスキルアップを目的として研修会を開催し，子育て世代の方が自助力や受援力を高められるよう啓発活動に反映

**実施日時：**平成30年9月25日(火)13:30～15:30

**内容：**①講演「災害時に求められる母子保健」  
～行政職にしかできないこと行政職だからできること  
神奈川県立保健福祉大学 吉田穂波教授  
②グループワーク  
「普段の業務の中で支援できること」

**参加者数：**34名（保健師等専門職，事務職，防災安全課職員）

# 平成31年度の主な取り組み予定

## 1. 妊娠子育て相談センターの充実

- ⇒妊娠子育て相談センターの充実  
(母子保健相談ニーズへの対応, こども部関係課との連携支援の強化)
- ⇒駅前すこやかプチルームの充実  
(身長体重測定等の相談対応, 関係課と連携をした情報提供)
- ⇒個別ニーズに応じたハイリスク支援プランの作成体制の整備

## 2. 母子保健事業の充実

- ⇒ハイリスクグループ支援の充実

## 3. 災害時母子支援体制の整備

- ⇒・災害時対策について, 母子保健事業での啓発強化
- ・災害時母子支援対応マニュアルの整備と関係部署との協議